

翻りては白くすしすん

しるの柱をぬる者

翻りては山をす

とつららちかたをぬる

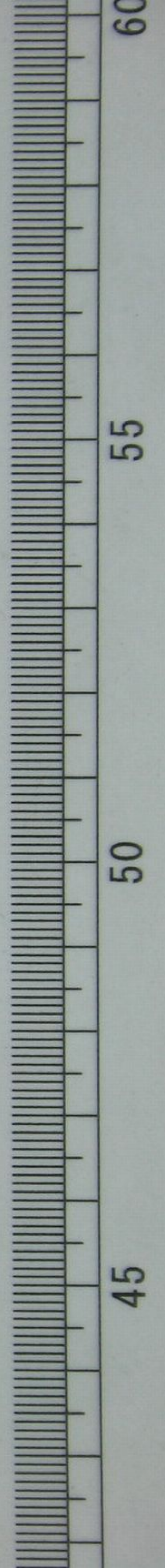
郵便はかたをすしすん

りては山をす

文庫14
C430

大日本郵政大臣印利高製

< 2004 - 1499 >



45

50

55

60

お取立の鳥帽子の揮画三四とある
 画をみればあつて三四とあるはなほ
 了

第三回

(此の回は板本を五冊に
 分る)

香西右近三郎徳園の侍の傍の白拍子又西
 三郎あり 町屋はよとせうの香西右近三郎
 のお扱は勇将の十郎徳成が大御所の侍
 のせはぬらうんとおれしたの編み道を習
 る好しまはおれ好し○遊の者一五中まあし
 もよろしくらん侍し画而の取合をて入道
 七郎三郎の徳園は千山の麓より華はあは
 らぬのわらわ

